

業務部速報

No. 25

発行 15. 9. 3

JR東労組 業務部

申10号

2015年3月ダイヤ改正を検証し、 鉄道ネットワークの充実を求める申し入れ

2015年3月ダイヤ改正では、2014年度実施したダイヤ改正の課題を反映させたダイヤ設定にしていくことや輸送体系が大幅に変化していくことから、各線区において発生する異常時に対応して行くため、輸送障害等が発生した際の平復に向けた体制を万全なものにしていくことを求めて来ました。

2015年3月ダイヤ改正実施時の議事録確認を遵守させ、より良い鉄道ネットワークの充実を図り、輸送品質の向上や働きがいのある職場環境創りに向け申し入れを行いました。

申し入れ全項目

【共通】

1. 2015年3月ダイヤ改正の検証結果を明らかにし、改正実施後の課題を明らかにすること。

【新幹線関係】

2. 上越新幹線の331Cと333Cの乗車率を明らかにすること。また、現在臨時列車として運行している8375C、8377Cを定期列車として運行すること。

【在来線関係】

3. E657系の運用について、仕業検査、清掃、汚物抜き、臨時の車両修繕等車両整備する間合いを十分に確保すること。そのために、現場の運用担当者の意見を尊重すること。

【ワンマン関係】

4. ワンマン列車とする基準を明らかにすること。また、車掌の要員不足を理由にワンマン化を行わないこと。

5. ワンマン列車として運行している全ての最終列車は、防犯・車内秩序維持の観点から、ワンマン運転を行わないこと。

【上野東京ライン関係】

6. 輸送障害時からの早期平復をはかるために、指令、各車両センター運用担当の連携を密にし、所属車両の戻しを考慮した運用を図ること。

7. スタンバイ予備の配置をやめ、運用担当者の計画を重視し、無理のない車両運用とすること。

8. 231系、233系併合運用の検証結果を明らかにすること。また、国府津車セ所属と小山車セ所属の編成は組まないこと。

9. 仕業検査切れが発生した理由を明らかにすること。また、仕業検査切れが発生させない対策を講じること。

10. 小山車両センターの車両検修能力の向上を図ること。また、高崎車両センターを活用すること。

11. 東京駅乗務員詰所の使用状況を鑑み、改修・改善を早期に実施すること。

**職場からの検証活動を強化し、
課題解決に向け、たたかいを創り出そう！**